

林野庁北海道森林管理局森林技術・支援センター及び 上川北部森林管理署士別森林事務所合同新庁舎概要

| | |
|------|--------------------|
| 所在地 | 北海道士別市東5条6丁目 |
| 構造規模 | 庁舎 木造平屋建（延べ面積357㎡） |
| 工事期間 | 令和5年1月16日～令和6年2月1日 |

建築基本方針

①利便性の向上

- ・ 森林技術・支援センターと士別森林事務所の共用部を各々から使いやすいよう集約しました。
- ・ 誰もが利用しやすいよう到来者の動線上に段差をなくしました。
- ・ 多機能トイレを使いやすい位置に設けました。

②周辺環境との調和

- ・ 士別市の行政機関に採用されているレンガ造りの建物と調和する色彩を外壁のアクセントカラーとして用いました。
- ・ 地域に親しまれる既存樹木を活かしました。
- ・ 敷地外から施設入口までを一直線の単純動線としました。

③環境負荷低減の推進

- ・ 除雪作業がスムーズに行えるよう、堆雪スペースまで片押しで除雪できる構内としました。
- ・ 執務室を南面配置とし自然採光に配慮しました。
- ・ 屋根の張り出しにより雪庇等による外壁面への影響を軽減しました。

④木材利用の促進

- ・ 西側道路からのファサード面の外壁を木板張りとしました。
- ・ 風除室・ホールの内壁を羽目板張りとし、木材の温もりある建物としました。
- ・ 建具は木製建具として、CLTを庁名板等に用いました。
（木材は、トドマツ・カラマツ・エゾマツ、ナラなどの道産材を多く使用）



工事進捗状況(令和5年12月)

〈参考〉

森林技術・支援センターと士別森林事務所の役割

【森林技術・支援センター】

豊かな北の森林資源を未来へと引き継ぐために、地域の森林の特性に応じた多様な森林づくりとして、北方の森林生態系の特質に応じた施業技術の開発とその普及・支援などを行っています。

【士別森林事務所】

国有林の管理を行いながら山地災害などから暮らしを守り、木材を循環的に利用できる森林づくりを行っています。

また、上川北部森林管理署と地元自治体等のパイプ役として、情報の収集発信など、地域の窓口としての役割を果たしています。

[管轄区域 士別市内の国有林、約1万7千ヘクタール]